

敬虔な信仰②聖霊を尊ぶ

ルカによる福音書12章8-12節

2012,10,7 HKJCF

I概観

序) ①神様を尊ぶ②聖霊を尊ぶ

- 1、神様を尊ぶ 8-10
- 2、聖霊を尊ぶ 10
- 3、聖霊による証し 11-12
- 4、聖霊により頼む歩み

適用) 敬虔な信仰は証しと聖霊へのより頼みで具体化する：今週あなたはどの様に主を証しますか? (口で、家庭で、職場で)

II神様を尊ぶ

- 1、聖霊の働きを受け入れる
 - 2、キリストを神の子と公に認める
 - 3、聖霊を汚す(認めない) 罪は赦されず
- ⇒ 聖霊は信仰の導き手、聖霊を否定して信仰に導かれることは不可能
- ⇒ 神様は行いより、イエス様との関係をご覧になる

III聖霊による証し

- 1、信仰告白は聖霊による (II-3)
 - 2、困難な中での信仰告白
 - 3、証しの知恵は聖霊から
- ⇒ 困難な時でないといけない証し
- 使徒25:11
- ⇒ 信仰を証しするとき聖霊の力を体験
- 使徒1:8

IV聖霊を尊ぶ

- 1、聖霊による啓示(聖書) IIテモテ3:16
 - 2、聖霊による信仰の確信(照明)
 - 3、聖霊による歩み(生活適用)
- ⇒ 静まり・明け渡し・信頼 イザヤ30:15
- 4、聖霊のみ業(賜物)
 - 5、聖霊の実(人格)
- ⇒ 教会=牧師+宣教師(会員) ⇔ 家・職・地 = 弟子の集い

V聖霊により頼む歩み

- 1、自分の力では歩めないとの自覚
 - 2、神様への熱心な求めと聖霊の満たし
 - 3、神様への明け渡しと勝利の確信
 - 4、必要な備えや具体的助け
 - 5、祝福の基⇒勝利(成功)とは神様の臨む自分(神の子)に成り、成り続けて行くこと
- ⇒ 神様への敗北こそが勝利の秘訣(信仰のパラドックス)